

## ベトナム語専攻モデルカリキュラム

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1時限 9:00-10:30		● ベトナム語 基礎 I (b)		▲ Freshman English I (ML)	▲ アカデミック 英語 I	
2時限 10:40-12:10	● ベトナム語 基礎 I (a)		● ベトナム語 基礎 I (c)	● ベトナム語 基礎 I (d)		
3時限 13:10-14:40	■ 東南アジア史 I		▲ アカデミック 英語 I	■ ベトナム研究入門	● ベトナム語 基礎 I (e)	
4時限 14:50-16:20	▲ Freshman English I (ML)	▲ ビジネス英語 I				
5時限 16:30-18:00						

オンデマンド：◆基礎演習 I ■アジア研究入門

必修・選択必修 ●=地域言語科目 ▲=英語科目 ■=研究科目 ◆=基盤教育科目

### ▶1年次(前期)

アジア言語学科のインドネシア語、ベトナム語、タイ語専攻は同じカリキュラムの形式をとっており、東南アジア地域言語と英語を同じ比率で学びます。1年次には地域言語を週5回、英語を週4回、必修科目として履修します。

「ベトナム語基礎」は、ベトナム人教員が週2回、日本人教員が週3回担当します。まずは声調言語の特徴を理解し、正しい発音を身につけていきます。その後、文法、語彙、会話、作文、聞き取りに分かれて、総合的なベトナム語運用能力を習得していきます。

### ▶3年次(前期)

3年次の地域言語は「ベトナム語応用」(3・4年選択必修)と、「ベトナム語総合」(3・4年必修)を履修します。「ベトナム語応用」は、より高レベルの文法・会話・作文などを中心に学習します。自分の考えをベトナム語で話したり、書いたりできるようになることが目標です。また、「ベトナム語総合」は、現代社会、比較文化など、コンテンツベースの授業になります。扱うテーマは多岐にわたり、語学力と教養を同時に身につけていきます。特徴的な発音・聞き取りが現地の人と同レベルで行えることをめざすとともに、ビジネスの場においても役立つ実用的なベトナム語運用能力の習得をめざします。

英語必修科目「English for Multicultural Communication」は、他言語専攻の学生と混合クラスで週2回行われ、内容の異なる授業が複数開講されます。

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1時限 9:00-10:30			● ベトナム語応用 I			
2時限 10:40-12:10	■ 東南アジアの 芸術Ⅲ		■ 東南アジア 社会論 I	● ベトナム語 総合-2	▲ English for Multicultural Communication	
3時限 13:10-14:40	● ベトナム語 総合-1	▲ English for Multicultural Communication		■ 国際協力論 I		
4時限 14:50-16:20				○ 応用演習	■ ベトナムの歴史	
5時限 16:30-18:00						

必修・選択必修 ●=地域言語科目 ▲=英語科目 ■=研究科目 ○=演習科目